

# ごみ減量アイデアコンテスト 応募原稿

## (ア) 当センターの「ごみ減量作戦 その1

### 「断捨離コーナー」

家庭で不要になったモノを自由に持ち寄ることが出来るスペースを、公的な機関に作った。⇒志和生涯学習センターのロビー

#### きっかけ(エピソード)

- ① 「生前整理をしましょう」「断捨離しましょう」「ごみを減らしましょう」という呼びかけは多い。
- ② 「よし、我が家も不要なモノを処分して、子どもや孫に迷惑をかけないようにしておこう」
- ③ 「不要な衣類などは、途上国に差し上げるなどして、モノとごみを減らすぞ!」と思い立つ人は多い。しかし、挫折・・・。
- ④ ため込んだモノを「いる物」「いない物」に仕分けしていると、ついつい「もったいない病」が頭をもたげてくる始末。
- ⑤ しかも「誰かに差し上げたいけど、新しくないから失礼になりそうだし、笑われそうだし。途上国にとっても、自分は運転しないから運べない。結局、大半を環境センターに持って行って捨てることになる・・・!大量のごみと化す!

こうしたことを解決するために、志和生涯学習センターでは平成26年6月「断捨離コーナー」の取り組みをスタートさせた。

#### 手順

- ① ロビーの一角に長机を置き、「断捨離コーナー」にする。
- ② 家庭にある「いらなくなった物」「誰かに使ってもらいたい物」「捨てるには惜しい物」を持参し、職員にあずける
- ③ 職員は、持参者の名前と連絡先を記録し、断捨離票に記入。断捨離票には「出品者の番号」「展示期間」「品物の説明など」を書いて、品物に貼り、長机に並べておく
- ④ 来館者は、自由に持ち帰り出来る

⑤ 1カ月経過しても残っていた場合は、出展者に連絡して引き取っていただく。

⑥ 展示できないもの⇒紙に書いて貼っておく

- ・生き物 ・植物(タネはOK) ・薬品 ・食べ物
- ・飲み物 ・大き過ぎる物
- ・生もの ・危険物 ・汚れがひどい物
- ・傷みが大きい物
- ・その他、モノによっては、職員がお預かりをお断りする場合があります

#### スタート直後は

「これ、ホンマに無料で貰ってもええの?」「もらってばかりじゃ申し訳ないから、何か持って来るよ」

などと、目的を理解していただくまでには、少し時間を要した。

また、納屋に眠っていた古い食器をどっさり持参され、よく見ると割れていたり、ひどく汚れていたり。

食器の汚れは、漂白剤に浸しておくことで解決。

破損品は、ご本人に持ち帰っていただく。

#### 8年間の間に！出品者はのべ550人！・・・お名前は記録表に記載

- ・文字通り、さまざまなものが並び、貰われて行った。
- ・大人の紙おむつ ・子育て用品 ・食器類
- ・雑貨 ・文具 ・花器 ・肌着(未使用) ・タオル
- ・鍋などの台所用品 ・ホテルや旅館で貰って帰った歯ブラシ、スポンジ、シャンプー、ひげそり、石鹸 ・お中元、お歳暮、返礼品の数々
- ・結婚式で貰った、名前入りの置き時計、本、灰皿
- ・バッグ ・アクセサリ ・床の間の置物 ・絵画
- ・手作り手芸品 ・ふとん ・座布団
- ・ブランドのバッグ、ハンカチ、財布 ・靴
- ・将棋セット ・フランス人形 ・日本人形
- ・楽器(ギター、電子ピアノ)・・・大き過ぎるものはその写真を飾って紹介。

#### 貰い手があった例(ほんの一例)

- ・梅干しなどを漬ける広口のビン ・写真立て
- ・着物、帯、和装小物 ・浴衣 ・ぞうり、下駄
- ・洋服類 ・三輪車 ・自転車
- ・魔法びん⇒現在は農作業時に、田んぼで活躍しているそう。
- ・押し入れ収納ケース ・ホットプレート

- 3
- ・クリスマスツリー ⇒現在はサロンで活躍しているそう
  - ・床の間の飾り物、ひな人形、五月人形

### 嬉しかったエピソード

- ・平成 26 年、安佐南区の土砂災害が起きた時、  
「親戚が被災した。ここにある食器を全部いただいてもよろしいですか」と  
大量に持ち帰られた。  
  
・ある公立保育所の倉庫に眠っていたひな人形セット、地域の方からの頂き物  
であるため、捨てるに捨てられず・・・しかし、ひな祭りには園児の手作りの  
ひな人形を飾るため、この立派なひな人形セットの出番はない。正直、邪魔に  
なって仕方がない。と相談を受けた⇒断捨離コーナーに置いて、留学生に情報  
提供した。  
「日本のお土産に、ひな人形を持ち帰りたい♪」と  
10 人以上の留学生が、1 体ずつ、ばらばらに持ち帰られた。  
・外国の方々に、「和」のモノ  
のれん、扇子、和装小物、帯などは、大変喜ばれている
- ・大人用の紙おむつ  
大量に買い込んでおられたが、介護を卒業する時がきて・・・「使いかけだし、  
差し上げると失礼になるかも」と断捨離コーナーに。  
失礼になるどころか、またたく間に貰われて行った！  
子ども用、ペット用の紙おむつも、貰い手は多い。
- ・プラスチックの収納ケース(引き出しタイプ)。  
生前整理で大量に出されたもの。  
保育所や学校で再利用されている。(着替え衣類、発表会の舞台衣装を収納)。  
個人で持ち帰られた方もある。

断捨離コーナーがなかったら、このたくさんの「モノたち」は、ゴミになる  
ところだった。コーナーに並べることで、もう一度「命」を吹き込むことが出  
来、あちこちで活躍することが出来ているんだ！

断捨離コーナーは、「ごみ」を減らして

「笑顔」を増やすんだ！と実感した。

ただ・・・

残念なことに、当センターは令和4年3月に閉館する。

この「断捨離コーナー」もあと少しで閉店・・・。

公的機関⇒市内の地域センターや生涯学習センターなどで引き継いでいただけたら、と切に願う。

そこで

このコーナーを行うにあたってのお願いを少々・・・。

「無人」にしておく「ごみ捨て場」になる可能性あり！  
なので管理する必要はあり。

- ・1か月たっても貰い手がなければ、出した人が責任もって引き取る、などのルールを決めると良い
- ・汚れた食器をそのまま並べても、貰い手はない。  
きれいに洗って並べることで、どんどん貰われて行く。汚れたまま出さないように、出品者にもお願いする。
- ・いつも整理整頓をし、気持ちよく見ていただくように心がける